

学校だより10月号

令和3年9月30日



戸塚小学校だより

学校所在地 〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町132

TEL 881-0049・6461

Eメールアドレス y3totuka@edu.city.yokohama.jp

FAX 881-9804

心をつなぐ

校長 大谷 珠美

朝夕に、虫の音が秋を感じさせてくれています。学校の中庭からも、虫の音が聞こえています。

夏休み以降、緊急事態宣言が延長され分散登校での学習をおこなっていましたが、ようやく、10月4日（月）より通常の学校生活に戻ることができるようになります。分散登校の間は、iPad を使った学習も始まり、子どもたちはその操作にも慣れてきました。高学年は、分散登校中、オンラインでの朝の会も行いました。新しいことが次々に学校現場に入ってきています。すべてを迅速に取り入れて行っていくことが必要ですが、その前に、誰もが安心して取り組めるように、使い方やルールを守って使用することが大切です。また、教員も、指導する前には事前に多くの時間をとって研修をしたり試したりしています。本校では、まだ始まったばかりの iPad の学習ですが、家庭に持ち帰った時に、子どもたちがどのような使い方をしているか、ぜひ、確認をしてください。そして、利用する時間や時間帯についても話し合ってください。iPad は学習ツールとしてはとても便利な反面、のめりこむとそれだけに集中してしまい、人との心のつながりが希薄になっていってしまう面もあります。今は外で元気に走り回ったり、友達と一緒に遊んだりすることもできにくい状況なので、iPad が一人でできることの一つになっているかと思いません。でも、それにのめり込むことなく家族や友達と過ごす時間も大切にしていってほしいと思っています。

さて、10月以降、今までできなかった学校行事が少しずつ再開され、学習においても、ミシンボランティア、校外学習の付き添いボランティアなど保護者の皆さんや地域の皆さんにご協力をいただくことが出てきます。少しずつ教育活動も進めていけるようにご協力をお願いします。

学校は、地域の中でも人をつなぐ役割も兼ねていると考えています。特に戸塚小学校の地域は、連合、町内会の方々が学校のことを気にかけてくださっていて、町内会の会合に参加させていただいた時には、「学校は大変だね。」「子どもたちは大丈夫?」「先生たちも気を付けてね。」と温かい言葉をかけてくださいます。地域との繋がりが弱くなっていくと一人ひとりの地域社会の一員としての意識が薄れ、地域はただ単に「住居が立ち並ぶ場所」でしかなくなってしまいます。そうすると、住民同士の協力や助け合いが難しくなるだけでなく、地域への愛情も薄れ、公共心も失われ、マナーが悪化しルールが守られないといった状況になりかねません。地域の中で子どもは育っていきます。地域は、子どもの教育だけでなく、地域そのものの「暮らしやすさ」「居心地の良い雰囲気」など、私たちの日常生活の様々な場面での安心・安全にも影響してきます。戸塚小学校を支えてくださる保護者やこの地域の方々と心のつながりを大切に私たちが教職員は子どもたちを育てていきたいと思っています。